

昭和人物事典 戦前期

日外アソシエーツ 編 B5・910頁 定価(本体18,500円+税) ISBN978-4-8169-2650-1 2017年3月刊行

圧倒的な収録人数

- 昭和戦前期に活躍した日本人7,913人を一冊で一覧できる人物事典です。
- 後世に業績を残した人物や将来を嘱望されながら若くして戦死した人物、社会の話題を集めた有名人などを分野を問わずに収録。既存の人物事典には掲載されていない人物も多く含まれています。
- 「出身都道府県別索引」付き。この時期に活躍した郷土の著名人がわかります。

既刊

明治・大正時代に活躍した日本人を網羅

明治大正人物事典

●政治家、官僚、軍人、実業家、社会事業家など5,345人

I 政治・軍事・産業篇

A5・720頁 定価(本体17,000円+税) 978-4-8169-2328-9 2011.7刊

●作家、美術家、学者、音楽家、演劇人など4,957人

II 文学・芸術・学術篇

A5・740頁 定価(本体17,000円+税) 978-4-8169-2329-6 2011.7刊

小野寺 信 おのでら・まこと

内容
見本

陸軍少将

明治30年(1897年)9月19日～昭和62年(1987年)8月17日

国 岩手県胆沢郡前沢町(奥州市) 階 陸士(第31期)[大正8年]卒、陸大(第40期)[昭和3年]卒 階 所属部隊のシベリア出兵を機にロシア語を身につけ、のち陸軍屈指のロシア通として評価を高める。昭和10年ラトビア公使館付武官、12年エストニア・リトアニア公使館付武官兼務となり、バルト三国を拠点に情報士官として活動した。13年中支那派遣軍司令部付として上海へ赴任、特務機関“小野寺機関”を率いて日中戦争の和平工作に従事、蒋介石との直接交渉に取り組んだが、同じ陸軍の影佐禎昭が進める別の和平工作である汪兆銘政権樹立工作(梅工作)を進めることになり、直接交渉工作は挫折した。16年駐スウェーデン公使館付武官として赴任、18年陸軍少将に昇進。太平洋戦争開戦前から敗戦に到るまでの全期間を通じて、中立国であるスウェーデンを足場にして枢軸国・連合国の情報収集に手腕を発揮。対米戦争の危険性を予見して日米開戦不可を訴え続けた他、20年2月のヤルタ会談直後にはソ連の対日参戦情報をいち早く掴んで本国に打電したが、情報は生かされなかった。最晩年の60年、NHKテレビ「日米開戦不可ナリ」と、翻訳家である妻・百合子の手による著書「バルト海のほとりにて—武官の妻の大東亜戦争」でその活動が注目を集めた。 図 妻=小野寺百合子(翻訳家・評論家)、長男=小野寺駿一(運輸省港湾局長、元海上保安官)

【収録人物例】

安倍寛 衆議院議員 “昭和の吉田松陰” と呼ばれた安倍晋三首相の父方の祖父

里村欣三 フィリピンで戦死した従軍作家

柳瀬正夢 空襲で亡くなったプロレタリア洋画家

諏訪根自子 一世を風靡した少女バイオリニスト

松尾伝蔵 二・二六事件で義兄の岡田啓介首相の身代わりとなった陸軍大佐

湯山八重子 坂田山心中事件のヒロイン 映画「天国に結ぶ恋」のモデル

杉原千畝 ユダヤ人難民にビザを発給し続けた外交官

飯沼正明 国産機による初の国際航空世界記録を樹立した飛行士

和田妙子 “ミス・マヌエラ”の名で上海で活躍したダンサー

谷豊 “ハリマオ”の異名を馳せたマレーの義賊

内野台嶺 サッカー日本代表のシンボルマーク(八咫鳥)を発案した漢学者

徳川夢声 放送芸能家・俳優 活動弁士(無声映画説明者)の第一人者

呉清源 木谷実と新布石を案出した“昭和の碁聖”

清沢冽 ジャーナリスト・外交評論家 「暗黒日記」を遺した自由主義者

仁科芳雄 日本の物理学界を先導した世界的物理学者

浜井松之助 外地専門の書籍取次・大阪屋号書店の創業者 …etc.

2017.2

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

昭和人物事典 戦前期

定価(本体18,500円+税) ISBN978-4-8169-2650-1

冊



9784816926501